

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2018年8月1日 179号
世界平和地球村の建設と自然環境の保護



完成した、エビ養殖の保温室

7月14日撮影



仕事を完成させる水落氏。7月2日



ビニールカバーを張る作業。6月27日



すべてプロの精巧さで作業。6月20日

南半球は、年間で最も気温の低い季節を迎えていました。レダ基地では最高気温が一桁の日もあり、時にはスタッフや従業員が焚き火で暖を取ることがあります。稀な現象ですが、六月、雹(ひょう)が降りました。レダの塩水で孵化し、育成したオニテナガエビの稚エビを寒さから守り、大きく育てるために、必要なのが保温室設備です。先号で、保温室の建造工事についてお伝えしましたが、この七月初めに完成しました。

保温室内には、基地の木工場で製作した保温槽が搬入・設置されました。今後は気温の変化に強い水産設備として、オニテナガエビの増殖・養殖の研究に用いられます。

保温室の建造では、大工のプロフェッショナル、水落勝氏が大きな働きをしました。レダでは、日本のような台風や地震はありませんが、暴風雨は珍しくありません。この保温室は、鉄筋コンクリートの土台と柱を備え、全体の造りも精巧に仕上げられました。水落氏は今回、約十か月間の赴任期間を全うし、日本に帰る日の押し迫る中で、寝食を忘れるほど作業に没頭しました。

七月四日、韓国の鮮文大水産生命医学科より、權赫樞教授が二名の研究生を伴い、左藤トシ子さんと共にレダに到着され、その飛行機で水落氏は帰国の途に就きました。鮮文大は、韓国で内水面養殖研究の蓄積があります。これから奥迫夫妻と共に、オニテナガエビの完全養殖に向けて、力を合わせて行きます。またパクーの養殖を指導してくれた、マグノ教授が所属するアスンシオン国立大学獣医学部も、エビ養殖の共同研究パートナーです。このチームは、未知の可能性を秘めた、パンタナール、ウエットチャコ地域において、前人未踏の研究に挑戦し、実用化してくれることでしよう。

エビ養殖の保温室が完成！

今、レダ基地では



第一二二回環境問題研究会セミナー開催

六月三十日（土）、午後一時半より、大山街道ふるさと館二階イベントホールにおいて、第二十二回環境問題研究会セミナーを開催しました。テーマは



セミナーの最後に記念撮影。6月30日午後4時15分

「地球温暖化問題への誤解／曲解を正す」、講師は第二十回でも講義された、気象業務支援センター長の鬼頭昭雄先生。参加者は三十六名でした。鬼頭先生は、IPCC第一評価報告書に続き、現在は第六次評価報告書の代表執筆者を務めている、地球温暖化問題の専門家で、第二十回と同様に、綿密なデータに基づく図表を駆使した、密度の高い講義がなされました。

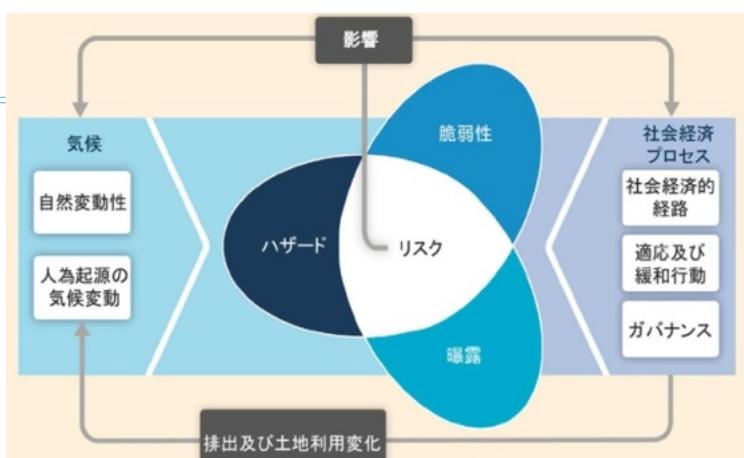
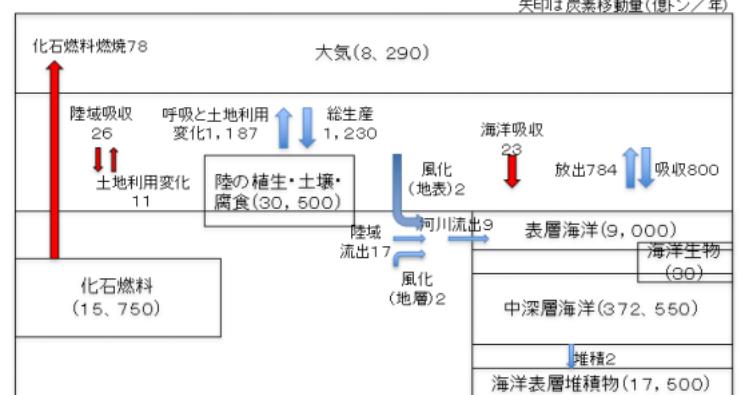
「一八九六年アレニウスの試算」「温暖化懐疑論の特徴」「二酸化炭素濃度の増加と海洋酸性化」「温暖化は起きているのか?」「自然変動ではないのか?」「温暖化の原因は何か?」「気候モデルは信頼できるか?」「温暖化により気候リスクが増加する」「地球温暖化が引き起こす社会・経済的な影響」等々、説明された内容が、とても高度かつ豊富なため、後に環

語る鬼頭昭雄先生。大山街道ふるさと館地環境・気候研究推進室長の鬼頭昭雄先生。参加者は三十六名でした。鬼頭先生は、IPCC第一評価報告書に続き、現在は第六次評価報告書の代表執筆者を務めている、地球温暖化問題の専門家で、第二十回と同様に、綿密なデータに基づく図表を駆使した、密度の高い講義がなされました。

「一八九六年アレニウスの試算」「温暖化懐疑論の特徴」「二酸化炭素濃度の増加と海洋酸性化」「温暖化は起きているのか?」「自然変動ではないのか?」「温暖化の原因は何か?」「気候モデルは信頼できるか?」「温暖化により気候リスクが増加する」「地球温暖化が引き起こす社会・経済的な影響」等々、説明された内容が、とても高度かつ豊富なため、後に環

(exposure)を言い、暴露とも書きます。

● 現在の炭素循環
海洋と大気の交換量約八〇〇億トンに対し、自然の炭素循環は收支均衡しているが、人為化石燃料等の人為起源は約八〇億トン。自然の炭素循環は收支均衡しているが、人為起源の二酸化炭素は大気・海洋中に年々蓄積され続けている。産業革命期以降の積算では三五〇〇億トンに達し自然界の炭素交換量を大きく超えている。(右図)



● 溫暖化懐疑論の特徴
既存の知見や観測データを誤解あるいは曲解している。
すでに十分に考慮されている事項を、考慮されていないと批判する。
● 多数の事例・根拠に基づいた議論に対し、少数の事例・根拠をもつて否定する。
● 定量的評価が進んでいる事項に対し、定性的にとどまる言説を持ち出して否定する。(定性的要因の指摘 자체はよいことではあるものの、その意義づけに無理がある。)
● 不確かさを含めた科学的理解が進んでいるにもかかわらず、不確かさを強調する。
● 既存の知見を一方的に疑いながら、自分の立論の根拠に関しては同様な疑いを向けてない。
● 問題となる現象の時間的および空間的なスケールを取り違えている。
● 溫暖化対策に関する取り決めの内容などを理解していない。
● 三段論法の間違いなど、ロジックとして誤解がある。

(明日香壽川ほか「地球温暖化懐疑論批判」(2009)から)

● 溫暖化懐疑論の特徴…この講義は、論理学の虚偽論を簡潔にまとめたような内容で、私たちの日常生活でも幅広く役に立つものです。これを頭の中に入れておけば、人やメディアから騙されにくくなるだけでなく、人が悪意からでなく人に迷惑をかけるような結果になることを防ぐ上でも効果がありそうです。

最後に質疑応答の時間があり、午後四時過ぎ、恒例の記念撮影をして、和やかに閉会しました。鬼頭先生と参加者の皆様、ありがとうございました。

次回の予定につきましては、本紙、当法人のホームページ、チラシ等でお知らせいたします。どうぞ、お見逃しなく!



第十八回国際協力青年奉仕隊へ、ご支援をお願いいたします！

●今年の奉仕地は、チャコのトロパンパ村

レダ・プロジェクトの重要な一環として、当会では毎年八月から九月にかけて、国際協力青年奉仕隊を派遣しています。今年は、パラグアイ、チャコ地方のトロパンパ村において、小学校のわきに公園を造るための奉仕作業をします。すでにトラック五台分の土を盛り、遊具を選定しています。公園造りは、村人たちの長年の夢の実現であり、当会を信じて協力を要望されたものです。

例年と同様、奉仕作業のパートナーは、主として学校の教師、生徒、父兄たち。活動期間を通じ、子供たちとスポーツや文化の交流も行われます。村人たちは、熱意に溢れた校長先生を筆頭に、すでに日本の青年奉仕隊の訪れを、大変に楽しみにし、待ちわびています。

●支援金の送り先：ゆうちょ銀行から

記号10280 番号61349751

他の金融機関から

店名〇二八 店番〇28

普通預金 61349751



第13回奉仕隊を歓迎するトロパンパの住民たち。



トロパンパの子供に折り紙を教える。2013年8月



COOL CHOICE

検索

●植物を育てる楽しさは想像以上！

COOL CHOICE（クールチョイス）より、「地球温暖化対策にもつながる、楽しい『おいしいベランダ菜園』」を紹介します。

（以下、同ウェブサイトより引用）

私たち一人一人が心がけることのできる地球温暖化対策も、探せば広範多岐にわたっています。ここでは、信頼できる情報を分かりやすくまとめたウェブサイトの一つ、環境省のCOOL CHOICE（クールチョイス）より、「地球温暖化対策にもつながる、楽しい『おいしいベランダ菜園』」を紹介します。

ト、リーフレタス、二十日大根などがお奨めです。（以下、同ウェブサイトより引用）

生活の中に植物があると、眺めているだけで楽しいものです。さらに自分の手で育てれば、土に触れたり、香りをかぐことでもリラクゼーションできます。

特に家庭菜園は、収穫の喜びがあり、農薬の心配もなく味わうことができる、究極の贅沢ではないでしょうか。庭のないマンションでも大丈夫！ベランダで鉢やプランターひとつから始められますので、ぜひトライしてみてください。

ベランダ菜園で必要なものは、野菜やハーブの種（または苗）と、鉢、シャベル、培養土などです。道具は百円ショップでも手に入るのに簡単な育て方が書かれていることが多いです。それを参考にして植え付けをしましょう。

ベランダ菜園のコツ

■日当たりが重要。

■夏に西日が強いな

るとこには鉢台などを使う。

■遮光ネットで乾燥や葉焼けを防ぐ。

■植物は、洗濯物干場など

の場所は、遮光ネットで乾燥や葉焼けを防ぐ。

■植物は、洗濯物干場など